# コンサルタント契約実態調査報告書

昭和59年度

国際協力事業団調達部





# コンサルタント契約実態調査報告書

1067667[4]

昭和59年度

国際協力事業団調達部

国際協力事業団 18117

	* .		
-	•		
	٠,	目 次	
1.	調査	の経緯・目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	調査	団の構成	1
3.	調査	実施案件及び契約コンサルタント	. 2
4.		日程表	3
5.	調査	結果	6
	(1)	契約概要	6
	(2)	仕様・S/Wと現状の整合性	7
	(3)	工程計画と現状の問題点	7
	(4)	団員の就業状況	9
	(5)	資機材の使用状況」	1
	(6)	JICAからの貸与機材1	2
	(7)	外注業務	3
•	(8)	相手国の便宜供与1	3
	(9)	本社・現地事務所の支援1	6
	(10)	現地調査費の経理処理	7
	an	技術移転	9
	(12)	調査団からの要望・意見	: 3
	. (	別紙)	
		現地調査費の契約単価と実績の比較	: 6

# 1. 調査の経緯・目的

コンサルタント契約実態調査は、昭和53年度以来継続して実施しており、調査の結果は コンサルタント契約に関する諸制度や、事務の合理化等改善に役立ててきた。

本年度は予算の制約もあり、南米に1チーム、東南アジアに2チームの計3チームを派遣 し、全般的な項目にわたり調査を実施した。

本報告書は、とりあえずアンケート及び現地でのヒヤリングをもとにした実態調査の結果をとりまとめたものである。

今後、この調査結果を踏え、更にコンサルタント契約に係る制度の改善等に資することと する。

## 2. 調査団の構成

第1班 (コロンビア, パラグァイ, ボリヴィア, ペルー)

総 括 上 村 昌 司 調達部長

団 員 肥土和彦 調達部管理課長代理

第2班 (フィリピン,タイ)

総 括 宮澤昭七 社会開発協力部専門調査役

団 員 大 沢 尚 正 経理部財務第一課長代理

第3班 (インドネシア、マレイシア)

総 括 長 沢 幸 敏 調達部管理課長

団 員 白石英一 調達部管理課長代理

# 3. 調査実施案件及び契約コンサルタント

				lant.	te sv da va
担当班	調査団具	(国 名	調查失施案件	契約コンサルタント	推路部群
為 1 班	上 村 昌 司 コロンピア 駅 土 和 彦		パランキージャ総合都市交通計両調査	JV. ① 佛艮大橋設計センター 八千代エンジニアリング開	社会開発協力部 開発調查第一課
		, ,	アルマゲール資源開発協力基礎調査	三井金禺省海開発的	於工業計画調充部 資 源 詢 查 課
		バラグァイ	アスンシオン首制層幕市交通整備計画調査	JV、① 八千代エンジニアリング的 切 日 娘 作 物	柱 会 開 発 協 力部 開 発 調 査 第 一課
		41	カセバリ地区資料造成計画調査	会高高效素体本目的 仍 N L 的 聚 別 別 国	林業水産開発協力部 林 葉 開 発 請
		ボリヴィブ	サンテクルース総合病院違設	他 工 管 理	無債資金協力部業 務第二課
		ベ ル ー	チョシーカ市上下水道整備計画基本設計調査	日本上下水道設計傳	無債資金協力部基本 表 計 課
第2班	實 孫 昭 七 大 沢 尚 正	フィリビン	アスエ農菜総合開発計画調査	JV. ① 中央 開発 朝 朝 三店コンサルタンツ 玉野総合コンサルタント 朝	農林水產用極調產品 農林 水 莲 技 祝 聲
		, ,	パナイ河流域港水防御基本計画調査	日本工育物	社会 開 発 協力部 開 発 調 査 額 二 課
		フィリピン	マニラ賞都衛都市交通計画調査	例アルメック	社 会 捌 発 協力 部 間 発 調 査 第一 課
		ž .1	サンカンペン炝熱開発計遠調査	J V. ① 日本系化学工業 物 日鉄鉱コンサルタント 物 三井 金属 資 改 開 差  数	鉱工業計画調査部 資 療 調 査 部
		"	東北部道路網整備計震調查	JV. ① 剱片平エンジニアリング 日本 工 質 朝	社会開発協力部開発調査第一課
第3班	長 沢 幸 敏 白 石 英 …	インドネシア	ジャカルタ首都圏幹線道路網条偽計画調査	謝 バシフィック・コンサルタンツ・ インターナショナル	社 会 開 発 協 力 部 開 発 調 査 第 一 課
		n	ウィダス川流域開発計画調査	JV. (1) B 本 工 営 助 日本建設コンサルタント 閉	社会開発協力部開発調査第二課
		lt	ウジェンバンダン土水道整偽計議調査	像日本コン	社会開発 18 力 部 開発調査 第二 課
	·	マレイシア	クランバレー交通計画調査	J V. ① 棚フクヤマコンサルタンツ インターナショナル 棚パシフィック・コンサルタンツ・	社会 開 発協力 部開発 調 充 調 大 網 光 調 大 網

4.	調査	· 日	程表	
	(1) 第	1 班		
日時	月日	曜日	行 程	調査内容
ı	11. 14	水	東京 → ニューヨーク	移動
2	15	木	ニューヨーク> バランキージャ	移動
3	16	金	(バランキージャ)	実態調査(バランキージャ総合都市交通計画調査)
.4	17	1:	バランキージャ → ポゴタ	ポコク事務所・大使館 調査趣旨説明, 日程打合せ
5	18	B	ポゴタ → カリ	パルミラ市視察
6	19	Ŋ	カリ → ポゴタ	CIAT, I CA視察
7	20	火	(ポゴタ)	実態調査(アルマゲール資源開発協力基礎調査)
8	21	· 水 · · ·	ボゴタ → りオ・デ・ジャネイロ	移 動
9	22	木	リオ・デ・ジャネイロ -> アスンシオン	アスンシオン支部 調査趣旨説明、日程打合せ
				アスンシオン市中央食品卸売市場改善計画視察(機材)
10	23	企	(アスンシオン)	大使館表敬訪問
				実態調査(アスンシオン首都圏都市交通整備計画調査)
11	24	±_	アスンシオン → イグアス	実態調査(カビバリ地区森林造成計画調査)
12	25	B	イグアス → ストロエスネル	移 動
13	26	月	ストロエスネル -> サンパウロ	移 動
1 4	27	火	サンパウロ → サンタクルス	実態調査(サンタクルス総合病院)
15	28	水	(サンタクルス)	サンタクルス支部 調査結果報告
16	29	木	(サンタクルス)	(ポリヴィア航空ストライキのため停滯)
17	11. 30	金	サンタクルス -> ラバス	ラバス出張所・大使館 調査趣旨説明
			-	消化器病研究センター視察(機材)
18	12. 1	土	ラバス → リマ	リマ事務所 調査極旨説明, 日程打合せ
19	2	В	( y , ¬ )	実態調査(チョンーカ市上下水道整備計画基本設計調査
20	3	月	( ) = )	大使館表敬訪問
_ •				チョシーカ市(上下水道施設)視察, ITP視察(機材
. 2 1	4	火	リマ → ロスアンジェルス	
2 2	5	水	ロスアンジェルス	
	L	L		

# (2) 第 2 班

1185	да	曜日	行程	調 査 内 容
1	11. 20	火	東京 → マニラ	移 動 マニラ事務所・大使館 調査趣旨説明、日程打合せ
2	12	水	(マニラ)	実想調査(アスエ農菜総合開発計画調査)
3	22	木	(マニラ)	アジア開発銀行 コンサル契約の実情聴取 実態調査(マニラ首都関都市交通計画調査)
	23	金	マニラ → ロハス	実態調査(パナイ河流域洪水防御基本計画調査)
5	24	±	(0/2)	<b>10</b> .l:
6	25	13	ロハス> マニラ	移動
7	26	月	( マニラ )	実態調査(マニラ首都圏都市交通計画調査)
8	27	火	(マニラ)	マニラ事務所・大使館 調査結果報告
9	28	冰	マニラ → パンコック	移動
10	29	木	(バンコック)	バンコック事務所・大使館 調査趣旨説明,日程打合せ
11	30	金	バンコック → チェンマイ	実態調査(サンカンペン地熱開発計画調査)
12	12. 1	:Ł	(チェンマイ)	同·上
13	2	В	チェンマイ → バンコック	実態調査(東北部道路網整備計圖調查)
1.4	3	月	パンコック> コンケン	同 上
15	4	火	コンケン> パンコック	バンコック事務所・大使館 調査結果報告
16	5	冰	バンコック → 東 京	

	(3)	第 3	班	
·				
日時	វាច	曜日	行 程	調 査 内 容
1	12. 10	Л	東京 → ジャカルタ	移動
2	11	火	(ジャカルタ)	ジャカルタ事務所・大使館 調査趣旨説明, 日程打合せ
				実感調査(ジャカルタ首都翻幹線道路網整備計画調査)
3	12	水	(ジャカルタ)	同上条件のプロジェクトサイトの視察
4	13	木	ジャカルタ → スラバヤ → マラン	実悲調査(ウィタス川流域開発計画調査)
5	14	金	(マラン)	同上案件及びプランタス河開発計画プロジェクトサイト視察
6	15	J.	スラバヤ → ウジュンバンダン	<b>実態調査( ウジュンバンダン上水道整備計画調査 )</b>
7	16	B	(ウジュンバンダン)	ウシュンパンダン工業用地計画調査のプロジェクトサイト視察
8	17	月	(ウジュンバンダン)	ウシュンバンタン上水道整備計画調査のプロジェクトサイト視察
9	18	人	ウジュンバンタン -> ジャカルタ	移 動
10	19	水	(ジャカルタ)	ジャカルタ事務所 調査結果報告
11	20	木	ジャカルタ> クアラ・ランプール	移動
12	21	金	(クアラ・ランブール)	実態調査(クランバレー交通計画調査)
1 3	22	±	( クアラ・ランプール )	同上案件のプロジェクトサイト視察
1.4	23	В	(クアラ・ランプール)	クアラ・ランプール近郊交通事情視察
15	24	Я	(クアラ・ランプール)	クアラ・ランプール事務所 調査結果報告
			クアラ・ランブール	
16	25	火	→ 東 京	

# 5. 調 査 結 果

	1. 契約 概要			
	(1) 契約コンサルタント	(2) 契約期間	(3) 契約金額	(4) 担当部課
			(千円)	
コロンピア パランキージャ総合都 市交通計画調査	JV. ① 佛 長大橋設計センター 八千代エンジニアリング開	59.6,1~60.3.21	170,699	社会開発協力部開発調査第一課
コロンピア アルマゲール資源開発 協力基礎調査	三井金棋資源開発的	<del>-</del>		就工業計而調査部 資 源 調 査 課
バラグアイ アスンシオン首都倒都 市交通整備計画調査	JV. ① 八千代エンジニアリング樹 朝 日 航 洋 樹	59. 8. 3~60. 3. 22	228,961	社会開発協力部 開発調査第一課
バラグアイ カビバリ地区森林造成 計画調査	JV. ① 创 日本林業技術協会 图 際 航 業 朗	59. 6. 1~60. 3. 20	119,514	林業水產開発協力部 林 業 開 発 課
ポリヴィア サンタクルース総合病 院建設	施工管理 (株) 日本設計事務所 施 エ フ ジ タ 王 葉 (株)	-		無價資金協力部 業務第二課
ベルー チョシーカ市上下水道 整備計画基本設計調査	日本上下水道設計㈱	59.11.20~60.4.30	4 3,0 3 8	無債資金協力部 基本 設 計 課
フィリピン アスエ農業総合開発計 画調査	J V. ① 中 央 開 発 翰 (附 三祐コンサルタンツ 玉野総合コンサルタント(附)	59. 5. 29~60. 3. 15	160,623	農林水産計画調査部 農 林水 産 技 術 課
フィリピン パナイ河流域洪水防御 基本計画調査	日本工營(株)	59.6.11~60.3.16	169,637	社会開発協力部 開発調査第二課
フィリピン マニラ首都圏都市交通 計画調査	㈱ アルメック	59.6.20~60.3.20	186,833	社会開発協力部開発調査第一課
タ イ サンカンペン地熱開発 計画調査	JV. ① 日本重化学工業樹 日鉄笠コンサルタント樹 三井金属資源開発樹	59.5.8~60.3.25	1 4 2,2 8 0	鉱工業計画調査部 資 源 調 査 課
タ イ 東北部道路網整備計画 調査	JV. ① ㈱片平エンジニアリンク 日 本 工 営 ㈱	59.6.27~60.3.30	170,434	社会開発協力部開発調査第一課
インドネシア ジャカルタ首都圏幹線 道路網整備計画調査	傷 バンフィック・コンサルタンツ ・インターナショナル	59.11.1~60.3.31	194,913	社 会 開 発 協 力 部 開 発 調 査 第 一 課
インドネシア ウィダス川流域開発計 画調査	JV. ① 日 本 工 営 棚 日本建設コンサルタント棚	59.7.6~60.3.20	166,133	社会開発協力部 開発調查第二課
インドネシア ウシュンパンダン上水 道整備計画調査		59.7.10~60.3.15	109,808	社会開発協力部開発調査第二課
マレイシア クランパレー交通計画 調査	J V. ① 例 フタヤマコンサルタンツ インターナショナル 例 パンフィック・コンサルタンツ・ インターナショナル	59.11.16~60.3.8	68,364	社会開発協力部 開発調査第一課

	2. 仕様・S/Wと現状の整合性	3. 工程計画と現状の問題点
(5) 調査業務の概要	(1) 相 進 の 有 無 (2) 有の場合の内容と対応策	(1) 現地調査の期間
コロンピア国第四の都市、バランキージャにか ける中心市街地の円開発を含む総合都市交通計 画のM/Pを作成する。	相 違 無	短(245日→275日が望ましい)
アルマゲール地域において、地質調査、地化学 探査、物理探査、ポーリンク調査により資源開 発調査を実施する。(金属鉱業事業団委託)	相 違 無	適当
アスンシオン首都圏における公共交通,上地利 用計画,道路網計画等都市交通整備に係るM/ Pを作成する。	相違無	適当
カピバリ地区の森林約10万 ha のりち21,000 ha について林業経営のモデル地区を作り,造 林事業の民間への普及を図るための森林造成計 画を作成する。	有(パ国林野庁職員の大半が英文を読めないため,英文報告書を西文報告書提出に変更。 JICAとパ国間で同意書に署名務)	適当
無償資金協力により建設中の病院 内科(50床), 小児科(50床), 外科(50 床), 救急等(50床)	相違無	適当
無償資金協力によるチョシーカ市の上下水道整 備計画実施のための最適規模の設計・仕様につ き基本設計を行う。	相 違 無	短(25日→45日が望ましい)
パナイ島アスエ河流域の農業を中心とした地域 開発計画を策定し、事業の技術的・経済的妥当 性を検討・評価する。	相 違 無	適当
パナイ島パナイ河流域の洪水対策を中心とする 開発基本計画を策定する。	有(当初計画は調査の第一段階で最適案を選出し、第二段階の作業で更に精しくスタディする案であったが、調査開始後調査団より全期間のスタディを通して最適案を選出すべきとの作業	適当
マニラ首都関都市交通計画のフェーズ [ として L R T 関連地域外の短期及びマニラ首都圏全域 の中期的計画を策定する。	方針の変更についてJICAの承認を得た) 相 違 点	適当
サンカンペン地域において深度 1,500 mの調査井を掘削し、地熱開発の技術的可能性を検討する。	相 違 無	遊  当
タイ東北部上6県の道路網整備について56, 57年度に実施したM/Pにもとづき、優先度 の高い新設・改良路線についてF/Sを,修繕路 線は代表的区間のF/Sを検討する。	有(①タイ側より調査ルートの変更要請があり, JICAとの契約変更を行った。②現地踏査の 結果,調査対象ルートの延長に差が判明したが 契約内で対応した)	適当
ジャカルタ首都圏は急成長しつつあり,規模に 見合った都市施設の改良・建設が必要であるが、 この一環となる幹級道路網のM/P作成のため 本調査が実施されている。	有(S/Wに基づき提供された事務所の面積が 狭く又、所在地にも問題がある。来年度の本格 調査には不向きなのでJICAと対応策を相談 する予定である)	適当
1973年OTCAによりレビューされたブランタス河流域開発M/Pの見直しの他,河川改修,ダム,かんがい,遊水池を含むウィダス川 流域開発計画のF/Sを行う。	有(①車輌のJICA提供が1カ月遅れとの間 借上げることとし、契約を変更した。②イ側より下isheryの調査追加が要請され、協議の結果、 イ側作成のレポートにコメントすることとした。 ③砂防計画調査内容の解釈につき Action Plan	短(255日→320日が望ましい)
ウジュンパンダン市上水道の供給能力は人口の32男しか供給できないので,2005年に人口の75男供給を目標とした開発M/Pを策定し、引続きア/Sを実施する。	全作成するととで契約変更した) 有(水道の漏水対策についてS/Wには簡単に ふれる程度であるが、イ側はこの対策の詳細な 調査を要請していることが分った。結果的には この要請は無理なので断った)	適当
本調査は、KLを含むクランパレー首都圏地域の開発戦略5カ年計画の一環たる交通計画M/Pの作成及び5カ年計画に盛りこむ短期計画作成のためのド/Sである。	相 違 無	不 明 (調査が開始されたばかりのため)

A SA	3. 工程計画と現状の問題点	
	(2) 現地調査の実施時期	(3) 現地調査の計画と現状の差の有無 (4) 有の場合の内容と対応策
コロンピア		
バランキージャ総合都 市交通計画調査	<b>13</b> 97	有(停電のため予定通り電算機化よる解析が進まな かった。自社負担化よる団員制強, 残業で対応した
コロンピア アルマゲール資源開発 協力基礎調査	不適(乾期(6月)の調査が望ましい)	有(調査機材の通関手続きに時間を要した。機材の 通関にJICAの協力を得,又物理探査班の日程を 15日間線下げた)
バラグアイ アスンシオン首都圏都 市交通整備計画調査	適 切	ж
バラクアイ カビバリ地区森林造成 計画調査	適切	兼
ポリヴィア サンタクルース総合病 院建設	適 切	無
ベルー チョジーカ市上下水道 整備計画基本設計調査	不適(河川汚瀏調査のため乾期(流量が少なく汚濁が高い時期)が望ましい)	無
フィリピン アスエ農業総合開発計 画調査	適切(乾期調査は乾期の開始時期よりむしろ 最盛期の方がՁましい)	有(計画対象地域を拡大したため別途契約で作成した地図の一部不足地区について追加測量の必要があり、契約の変更をした)
フィリピン パナイ河流域洪水妨御 基本計画調査	適切(第1年度と第2年度の契約が会計年度 で中断しているが、連続している方が効率的 である)	有(調査事務所が地方のため、大型電質機を利用出来方、解析に時間を要し、河川改修計画の作業が遅れた。小型計算機の追加借上げと土木技術者を自社負担で派遣予定)
フィリピン マニラ首都圏都市交通 計画調査	遵   切	有(相手国の理解不足、ニーズの変化による工程の ズレ、調査内容の変更、追加。JICAとの協議、 団員の派遣期間の調整等により対応)
ク 1 サンカンペン地熱開発 計画調査 タ 1	遵 切	無(地層の変化によっては、工程に遅れを生ずる可能性がある)
東北部道路網整備計画 調査 インドネシア	適切(乾朝(3~4月)が望ましい)	有(ローカルコンサルタントとの委託契約の遅れ、 洪水等による調査期間の延長。側量実施パーティー の組数を増す等により工期を短縮した)
ジャカルタ首都圏幹線 道路網整備計画調査 インドネシア	適 切	有(相手機関の休日に合せて日程を変更した)
ウィグス川流域開発計 画調査 インドネシア	遊 切	有(①大型電算機による詳細な分析の必要が生じ旅 遺時期の変更をJICAより承認された。②インセ ブションレポートの提出をPart   Study終了後に する様JICAに要請する)
ウジュンパンダン上水 道整備計画調査 マレイシア	適切	無
クランバレー交通計画 調査	不 明	不 明 (調査が開始されたばかりのため)

工程計画と現状の問題点		÷		4. 団員の就業状況	
現地調査の実施時期	(3) 現地調査の計画と現状の瓷の有無 (4) 有の場合の内容と対応策		(5) 現地調査の工程管理の有無とその方法	(1) 就業計画の有無 (2) 有の場合はその内容 (3) 無の場合はその理由	(4) 実際の就業状況
<b>28</b> 97	有(停電のため予定通り電算機化よる解析が進まな かった。自社負担による団員補強、残業で対応した	<b>)</b>	有く毎週月曜日にミーティングを行い、業務の 進捗状況に合わせ全体工程との調整をしている)	有(週間就労日数6日, 就業時間8時~18時, 昼休み12時~14時)	平均残業時間2時間/日 日曜日社休日 レポーティングの時期は休日 返上となる。
適(乾期(6月)の調査が望ましい)	有(調査機材の通関手続きに時間を要した。機材の 通関にJICAの協力を得、又物理探査班の日程を 15日間線下げた)		有(予定ルートの調査が達成出来なかった時は、 団長がルートの検討、団員の適正配置をしている)	無(八数が1人と少数であり、各自が自分のな すべきことを熟知している)	地質作業7時~16時まで外 業,18時まで調査整理, 雨天の日は調査整理
適 切	<b>Æ</b>		有(毎週土曜日に団の定例会議,金曜日にカウンターパートと定例会議を開いている)	有(週間就労日数6日, ただし現地雇用・カウンターバートは土・日の2日間休日, 就業時間7時30分~16時30分、屋休み1時間)	P T調査を主体とする現地調査の準備・実施に伴う残業, 夜間作業がある。団員以外の 休日勤務はない。
適 切	ж		有(計画に基づき、各担当が業務実施の前後に 団長の指示及びチェックを受けることにしてい る)	無(森林調査の場合,天候,道路未整備地への 進入、調査地までの距離等の問題があり,計画 通りに作業が進まないことが多く,臨機応変に 対処することとしている)	森林調査は、特殊事情がある ので、耐天時は外業、雨天時 は内業としている。入山は8 時出発、18時調査基地着と している。
適 切	無		<b>有</b>		
(河川汚濁調査のため乾期(流量が少な 圏が高い時期)が望ましい)	<b>Æ</b>		有(相手側からの資料提供が未確定のため1週 間程度の工程計画しか作成出来ない。毎週作業 後に2~3日間の作業工程を調整している)	無(当日の作業内容により早出又は残業となる ため)	月曜〜土曜:8時30分〜 18時30分現地調査 日曜・祭日:団内打合せ,資 料整理・解析
乾期調査は乾期の開始時期よりむしろ    の方が裂ましい	有(計画対象地域を拡大したため別途契約で作成し た地図の一部不足地区について追加測量の必要があ り、契約の変更をした)		有(毎週初日に前の週の作業報告と今週の予定 を定期的に打合せ、工程管理と調整をしている)	有(現地作業:週間就労日数6日,就業時間7時30分~17時,昼休分1時間半,屋内作業:週間就労日数6日,就業時間8時~17時,昼休分1時間)	現地は低気事情が悪いので、 夜間作業は少ないが、休祭日 に資料整理、レポート作成等 の作業を実施している。
第1年度と第2年度の契約が会計年度 折しているが、連続している方が効率的 )	有(調査事務所が地方のため,大型電算機を利用出来ず,解析に時間を要し,河川改修計画の作業が遅れた。小型計算機の追加借上げと土木技術者を自社負担で派遣予定)	4 4 4 -	有(団長が随時団員に作業の進捗状況を聴取し、 作業工程表と照して管理している)	有(土曜隔週休日,日曜休日,比国祭日無休, 就業時間8時~17時30分。ただし土曜は 12時,昼休み12時~13時30分)	残業は各人の作業進捗状況に よるが平均1時間。土曜は半 数程度が平日と同様の就業状 況となっている。
遼 切	有(相手園の理解不足、ニーズの変化による工程の ズレ、調査内容の変更、追加。JICAとの協議, 団員の派遣期間の調整等により対応)		有(毎週土曜日に団のミーティング、火曜日に 相手国政府とのミーティング、他に作業班別の ミーティングを週に1回行っている)	有(週間就労日数6日, 就業時間9時~17時 30分, ただし土曜は12時まで, 祭日は比国 の慣習に従う)	レポート作成時には、10~ 20時間/週程度の残業を行 う者が多い。
遵切	無(地層の変化によっては,工程に遅れを生ずる可 能性がある)		有(10日毎に工程管理者が実績と計画の対比 を行い工程を管理している)	有(据削中は12時間2交替制による連続作業, : 甲方8時~20時, 乙方20時~8時, 調査員 とし, 交替日は, 甲方2名, 乙方2名とし, 各1 わたり行う。1日12時間就業なので1日当り4	の配置は甲方3名、乙方2名 名が休養する。交替は2日に
(北州(3~4月)が望ましい)	有(ローカルコンサルタントとの委託契約の遅れ, 洪水等による調査期間の延長。測量実施パーティー の組数を増す等により工期を短縮した)		有(毎週月曜日に団の打合せを行い工程を管理している。ローカルコンサルタントに委託した 調査は、一部期間だけ立合い、後は成果品をチェックし工程・品質を管理している)	も特に休養しない) 有(週間就労日数6日, 就業時間9時~17時, ただし土曜は12時, 昼休み12時~13時, 日曜及びタイ国の祭日は休日)	残業は毎日2時間程度。月に 1回程度日曜に出動
適切	有(相手機関の休日に合せて日程を変更した)		有(ミーティングを行い工程を管理している)	有(月曜から木曜8時~16時45分,金曜8時~17時,土曜・日曜は休日)	目下土曜休みは実施出来ない。 日曜でも1人は出勤
99	有(①大型電算機による詳細な分析の必要が生じ派 遺時期の変更をJICAより承認された。②インセ プションレポートの提出をPart   Study終了後に する様JICAに要請する)		有( 遺例ミーティング, 月例ミーティング, 個 別打合せにより、スケシュールを作成し、各団 員に配布している)	有(週間就労日数6日, 就業時間7時~16時, ただし土曜は11時, 昼休み1時間)	残業は週平均20時間 日曜日も半分は就業
適 切	無		有(毎週月曜日にミーティングを行い、前週の 作業報告、今週の作業予定を報告し、調整・管 理している。又、月毎に各作業項目毎のパーチ ャートを作成し進捗状況を把握している)	有(月曜から木曜8時~16時,金曜8時~ 11時,土曜8時~13時,日曜・イ国の祭日 は休日)	残業は週平均15時間程度
不明	不 明 (調査が開始されたばかりのため)		有(グループ別の責任者が工程管理を行い、毎 週の会議で総括責任者が進捗状況のチェック、 グループ間の調整を行っている)	有(週間就労日数6日, 就業時間8時15分~ 16時15分, ただし土曜は8時15分~12 時45分)	調査を開始したばかりであり, 今のところ残業は少ない。

		and the second s
	4. 団員の就業状況	
	(5) 残業・休日勤務をする必要性	(6) 残業・休日勧務に対する考え方
コロンピア パランキージャ総合都 市交通計両調査	①コ制との協議に時間を要する。②資料データが 完全でなく、生データからデータを作成する。③ 報告書作成(レポーティングから印刷、製本)に 時間を要する。	週1日は休日とするよう努力している。
コロンピア アルマゲール資源開発 協力基礎調査		自然を相手の野外作業が主体であるから改善する 方法がない。野外調査が長期に連続する場合は、 2週間に1日内業する等判断している。
バラグアイ アスンシオン首都題都 市交通整備計画調査	調査実施に伴う残業は調査の円滑化, 確実性のため必要である。今後レポート作成時にも発生する ものと思う。	調査の信頼性を高めるためには、仕方がない場合 もあると考えている。
バラクアイ カビバリ地区森林造成 計画調査		団員・カウンターバート共, 認識している。
ボリツィア サンタクルース総合病 院建設		
ベルー チョシーカ市上下水道 整備計画 基本設計 調査	平日は、現地調査、相手側との打合せ等のため、 資料作成等は残業・休日に行っている。	現地調査期間中は当然の業務と考えている。
フィリピン アスエ農業総合開発計 画調査	現地は左記に同じ。屋内は①調査資料の整理・解析、②レポートの原稿作成、③レポートの編集・ 校正のため	現地作業期間中に資料整理・図表作成を出来る限 り完了させる様努力している。相手側に調査内容 を理解させレポートによる報告部分を少くするよ う努めている。
フィリピン パナイ河流域洪水防御 基本計画調査	予測外の事態に対応するため、出来る限り作業工 程を進めておくため	作業の正確な予定を立てることは難しいので、止 むを得ないと思う。
フィリピン マニラ首都圏都市交通 計画調査	①レポート作成,②現地踏査・調査(交通混雑が 少ないため),③コンピューターの利用,④日本 人だけの会議	①作業監理委員会に事前に説明するため、②・③止むを得ない、④現地側との一体感を損わないため
タ イ サンカンベン地熱開発 計画調査	据削作業を中止すると、使用泥水が地熱により劣 化し坑内崩壊の恐れ及び地熱流体の暴噴を防止す るため	限られた人員では止むを得ないと考える。
タ イ 東北部道路網整備計画 調査	レポートの提出時期がせまると休日勤務が必要と なる。	特に問題はないと考えている。
インドネシア ジャカルタ首都圏幹線 道路網整備計画調査	調査方針,スケジュール修正その他	3月31日に一担引き上げるので,残業によりカ バーせざるを得ない。 本来は好しくないが,やむを得ない。
インドネシア ウィダス川旋域開発計 画調査	①カウンターパートに依頼した仕事の手直し、やり直し、②所定の人/月では現地調査を完了できない。	契約時の人/月期間の不足
インドネシア ウジェンバンダン上水 道整備計画調査	コンピューターが宿舎にあるので、その関係の仕 事がある。	電圧事情、盗難防止等よりコンピューターを宿舎 に保管している。 残薬は、薬務の進捗上やむを得ない。
マレイシア クランバレー交通計画 調査		

資機材の使用状況		
) 携行した機材と契約書との相違の 有無 ) 有の場合は内容	(8) 通関・搬入上の問題の有無 (4) 有の場合は内容と対応策	(5) 機材の使用及び保管状況
相 違 無	<b>#</b>	マニュアルカウンターは使用後トランク につめて、事務所に保管。パソコンは現 在使用中
相 遊 無	有(無税輸入の承認,通関手続に時間を 要した。JICA事務所、カウンターパ ートの協力を得た)	
相 逄 無	有(マイコン(3台,約500万円,新品) の通関に約1カ月を要した。アスンシオン ン市の指示に従った)	事務所に保管
们 違 無	無	JICA支部の倉庫に保管
f (地図等がない場合を想定し、自社 地で簡易水準器及び距離計を持参し と)	無	調査団が保管
相 違 無	有(光波測巨儀は価格が高価のため通関 に時間を要した。S/W、IC/Rを示し、 調査用機材であることを了解させた)	現地宿舎内に保管 現地調査の無い期間は、現地NIA事務 所又はマニラ市内のコンサルの現地事務 所に保管
有(自社負担で、双眼鏡、高度計、カメラ、赤外線ランプ、立体視鏡等を持参した。契約に含まれていない質機材の 息加を認めるような一定の枠を認めて なしい)	有(運送業者(日通)が通関・運送に十 分なフォローをしなかった。マニラの日 通提携業者に作業を促進させた)	守衛を配置した調査団の事務所に保管し、 日本人が不在の時は入室しないような習 假としている。
相 違 無	無	
相 進 無	無	
相 遠 無	有(コンピューターの通関が非常に難し くなっている。JICA事務所、DOH の協力を得た)	コンピューターは調査団の事務所で使用 プロフイロメータは、事務所スペースが ないのでDOHに保管
相 遊 無	無	コンピューターは、コンピューター室に 保管している。他の機材は台帳を作成し キャピネットに保管
相 違 無	有(通関時に非合法的課税を要求されその対応に時間を要した。JICA事務所が処理した)	調査事務所に保管, 車輌はプランタス事 務所に保管
相 逸 無	有(コンピュータの通関に長時間(3.5時間)を要し、150米ドルを会社負担 で税関職員に支払った)	コンピューターは宿舎に保管し他の機材 は事務所に保管
相 逸 無	無	提供された事務所に保管予定

Part 117 Part Commission Commissi			anna and anna da anna and anna 
	5. 資機材の使用状況	6. JICAからの貸立	T
	(6) 使用後の機材の取 扱い	(1) 貸与機材の有無	(2) 投与機材の問題点
コロンピア バランキージャ総合都 市交通計画調査	贈与の予定	無	
コロンピア アルマゲール資源開発 協力基礎調査	持ち帰り	<b>4</b> #.	
バラグアイ アスンシオン首都関都 市交通整備計画調査	マイコンは持ち帰り 他は、贈与の予定	Ж	
バラグアイ カピバリ地区森林造成 計画調査	贈与の予定	無	
ポリヴィア サンタクルース総合病 院建設		無	
ベルー チョシーカ市上下水道 整備計画基本設計調査	持ち帰り	無	
フィリピン アスエ農業総合開発計 画調査	持ち帰り (損耗の大きいポー) (ル、テープは贈与)	有(弾性波試験器,長期 自記雨量計 )	
フィリピン パナイ河流域洪水防御 基本計画調査	持ち帰り	有( コピーマシン、ミニコ ンピューター,電圧安定 器各1, ジープ 6台)	①機材の通関に時間を要した。②コピーマシンは発送時にトナーを入れたままたったので、不良となり、現地で修理した。③コピーマシン、ツコン等現地調達出来るものは現地調達した方が良い。
フィリピン マニラ首都圏都市交通 計画調査		有(パソコン,車各1)	バソコンは当該機種がマニラでメンテナンスサ ービスがないので、機種選定は要注意
タ イ サンカンペン地熱開発 計画調査		有(ポーリング機械)既 にタイ側に供与済であり、 調査終了後整備しタイ側 に返還する。	部機材(エンジン,ポンプ)に問題もあった が,納入業者と接衞して対処している。
タ イ 東北部道路網整備計画 調査	贈与の予定	有(車:ロード・インス ベクションカー)	通関に約1カ月を毀した。 DOHは通関のため 十分な努力をした。
インドネシア ジャカルタ首都圏幹線 道路網整備計画調査	持ち帰り	無	
インドネシア ウィダス川流域開発計 画調査	持ち帰り	有(車) 調査終了後は贈与の予定	車については一般に相手政府側の提供は問題があり(予定どおり貸与されない、車の性能等) 又,JICA提供は、調達が遅れ勝ちであり、 外部からの借上げが必要となる。
インドネンア ウジュンパンダン上水 道整備計画調査	持 ち帰 り 試薬は,現地廃棄処分		
マレイシア クランパレー交通計画 調査	使用機材な殆んどない	ж	
		-12-	

7. 外往業務		8. 相手国の便宜供与
(1) 業務の内容 (2) 業者の選定方法 (3) 支 払 方 法	(4) 契約内容と実際の差の有無 有の場合はその内容と対応策 (5) 契約業者の能力	(1) S / W に便宜供与が明示されているか (2) S / W どかり提供されている
<b>A</b>		(1) 明示されている (2) 提供されている
無		(1) 明示されている (2) 提供されている
<ul><li>(1) P T調査データーのパンチ(ディスケットに入力)</li><li>(2) 見積書による比較評価</li><li>(3) 月払い</li></ul>	(4) 無 (5) 現時点では不明	(1) 明示されている (2) 提供されていないが, 支障は ない。
無	_	(1) 明示されている (2) 提供されている
(1) ポーリンク(地質調査), 測量, 水質分析 (2) 政府機関からの紹介 (3) 1/2前払、1/2完了後	(4)有(契約額の範囲で調整したため。 業務量、調査項目等を調整) (5) 現時点では不明	(1) 明示されている (2) 提供されている
<b>æ</b>	_	(1) 明示されている (2) 提供されている
<ul><li>(1) ポーリング(地質調査)</li><li>(2) 競争入札(3社)</li><li>(3) 手付,中間,完成時の3回払</li></ul>	(4) 無 (5) もっている	(1) 明示されている (2) 提供されている
(1)。外国人が立入り困難な地域、遠隔地域での調査 実施管理 。外国人が行りより効率的に行える社会的あるいは 即地的な情報収集 。計画策定によって影響を受ける地元交通業者・	(4) 無 (5) もっている	(1) 明示されている (2) 提供されていないが,支障は ない
利害関係者の調査。。セミナーの実施、技術移転の補助。セミナーの実施、技術移転の補助 (2) 技術、コスト・プロポーザルにより3社より1社を選定 (3) 毎月末に出来高払い	1 <u>.</u> . <del>-</del> 12 1 1	(1) 明示されている (2) 提供されている
無 (1) 交通・道路インベントリー、舗装面、土質、農 業の各調査・測量 (2) DOH推せ人業者の中から3者を選び、最低値	(4) 有(契約額の範囲内でより詳細 な調査を実施するよう項目,数量 を調整した) (5) チェックは必要であるが、かな り能力をもっている。	(1) 明示されている (2) 提供されている
の業者を選定した。 (3) 着手時 3 0 多,現場作業終了時 5 0 多,最終検 測後 2 0 多	(4) 無 (5) もっている	(1) 明示されている (2) 提出されているが問題あり。 (8) W記載の事務所スペースそ のも同節があり、かつ提供 された事務所にも問題がある)
(1) コンピュータープロセス (2) 他のプロジェクトで実績のある3社を指名し、 見積額により選定 (3) 実績により2分割払い 無	_	(1) 明示されている (2) 提供されず問題あり
無	-	(1) 明示されている (2) 提供されている
無		(1) 明示されている (2) 提供されている

	8. 相手国の便能	THE SECOND THE THE
	(3) カウンターバート の配置	(i) 資料の準備状況 (V) 入手に要する日数と日数を要する資料の個界 (II) 資料の信頼度 (III) 資料の入手方法
コロンピア パランキージャ総合都 市交通計画調査	有	(i) 50 多程度 (V) 5日~60日, 保安区域の地図、民間作成の資料 (ii) 信頼度は経緯あるが、重要資料のチェックは必要 iii) 市長名等で各部署に依頼、資料の収集・作成のための人員を雇用
コロンピア アルマゲール資源開発 協力基礎調査	有(6人)	
バラグアイ アスンシオン首都関都 市交通整備計画調査	有(6人)	(i) 社会経済関係資料の不足 (V) 1日~2カ月,平均2~3週間,関係管(ii) 世銀等の資料でチェック 庁のデータは全て (ii) 市の責任者名等で要請
パラグアイ カビバリ地区森林造成 計画調査	有(5人)	(i) 充分である (V) 1日~1カ月, 平均10日, 抜粋取り (ii) ある まとめ資料 卵 林野庁を通じ依頼
ポリヴィア サンタクルース総合病 院建設		
ベルー チョシーカ市上下水道 整備計画基本設計調査	有(3人)	(i) 人口統計, 既存施設の詳細図等が不十分 (v) 平均3日~5日 (ii) 現地調査, 測定調査等で資料の補充と精度を上げる。 (ii)
フィリピン アスエ農業総合開発計 画調査	有(15人)	(i) 充分である (V) 1日~15日, 平均1週間 (ii) ある (iii) 市販の政府公刊資料, 非販資料は文書により要請
フィリピン パナイ河流域洪水防御 基本計画調査	有(8人)	(i) 充分である (v) 1日~20日, 平均1週間 (ii) ある 配電関係資料 (iii) 直接又は文書により要請し入手
フィリピン マニラ首都圏都市交通 計画調査	有(14人)	(I) 不充分である (W 1日~数カ月,平均1週間, 航空写真, 民間企業データー (II) ない(カウンターチェック出来る資料によりチェックしている) (III) 資料購入、MOTCを通じ関係省庁より入手
タ イ サンカンベン地熱開発 計画調査	有(28人)	(i) 充分である (V) 2日~3日 (ii) ある (iii) EGATに依頼しDMRより入手
ターイ 東北部道路網整備計画 調査	有(5人)	(i) 横の連絡・情報の収集が悪く、資料の確認に時間の無駄があった。 (ii) ある (v) 数日~10日,地方庁、農業 (ii) 直接訪問又は公文書により依頼し入手 (関係統計資料,完成図
インドネシブ ジャカルタ首都圏幹線 道路網整備計画調査	有(4人)	<ul><li>(i) 充分である</li><li>(ii) ある</li><li>(ii) 個別訪問し入手, 一部購入</li></ul>
インドネシア ウィダス川流域開発計 画調査	有	(i) 約50~60%程度 (V) 1日~60日, 平均7日~15日 (II) 信頼度なし, 追加調査 整理・解析を要する資料 (III) 直接訪問し入手
インドネシア ウジェンパンダン上水 道整備計画調査	有(2人)	(i) 統計資料が不十分 (V) 1週間~2カ月 (ii) 信頼度なし、検算と妥当性のチェック (iii) 各部局を訪問し入手
マレイシア クランパレー交通計画 調査		(i) 充分である (V) 1週間, 但し地図類は 1 カ月 (ii) 内容を検討する要あり (fi) カウンターパートを通じ入手

			-
(5) (1 (ii	- 事務所・設備等の提供 ) - 提供の有無(場所) ) 設 - 備 - 等	(6) 車 輌 の 提 供 (1) 提供の有無 (II) 提供車輌の問題の有無 (II) 調査団専用か、相手側との共同使用か	(7) 運転手・タイピス ト・事務員等の提供
	有(バランキージャ市役所内) 事務机、会議用机、椅子、ロッカー等	(f) 提供 有 (fi) 問題 無 (ii) 専用	選転手(1), タイピスト (3), 事務員(2), ドラフト マン(3) 残業手当負担
	有(市庁舎前のピル) 机、椅子、ドラフト机、クーラー、本棚、タイプ	(1) 提供無し(S/W通り), 借上げ使用 (前) (前) 共 同	運転手 (2~3), タイピスト(2), セクレタリー(3) 会計(1), 他(2) 手当負担
	有(林野庁) 机, コピー	(i) 提供 有 (ii) 有(故障が多い) (iii) 専用	無
		(i) 提供 有	
— (1) (1)	有(政府機関庁舎)	(i) 提供 有 (ii) 問題 無	選転手(3)、タイピスト(1 通訳(2) 選転手(2)の手当負担
٠.	有(NIAセントラルオフィス) 照明, クーラー, 机, 椅子	(i) 提供 有 (ii) 問題 無 (iii) 専用	運転手(3) 手当の負担なし
	有(担当省現地事務所庁舎) クーラー, 机, 椅子, タイプ, キャビネット, 戸棚	(I) 提供 有 (II) 問題 無 (III)	運転手(4), 守衛等(8) 運転手の残業手当負
	有(運輸通信省内) 机,会議用テープル,ドラフト机,キャビネット, 電話	(i) 提供無し(S/W通り) 借上げ使用 (ii) (ii)	無
	有(現場敷地内) 無	(i) 提供有(S/Wには規定なし) (ii) (iii) 専用1台, 共同1台	運転手(2) 手当の負担なし
	無(ホテルの部屋を事務所として借上げ) 無(机、椅子はホテルに準備させた)	(j) <b>装望すれば現地調査の際</b> , 四輪駆動車 を提供	4
	無 机, クーラー	(i) 提供無し(S/W通り)	無
	有(マラン市内) 机、椅子、ゼロックス、ミニコンピューター、タイプ	(i) 提供 有 (ii) 有(時々不足を生じ,借上げ使用) (iii) 共同	運転手(6), タイピスト(8 ドラフトマン(5) 残業手当負担
	有(浄水場の一室) 机, 椅子, 応接セット	(i) 提供無し( S/W通り)	雑役(1) 手当の負担なし
	有(政府庁舎内) 机、製図板、クーラー	(i) 提供 有 (ii) 有(整備が悪く, 交換を交渉中) (ii) 専用	選転手(1), タイピスト( 他(1) 残業手当負担

	8. 相手国の便宜供与	9. 木社・現地事務所の支援
	(8) 便宜供与に関する問題点	(1) 本社の支援 (2) 現地事務所の支援 (3) 調査団と本社との連絡方法、経費、目的
コロンピア バランキージャ総合都 市交通計画調査	;# <u>;</u>	(1) 現地業務支援・研修を目的に3名自社経費で派遣 (3) 電話(2回/月), TLX(1~2回/週), DHL(1回/月) 月20万円程度 作業の進捗状況,作業管理委員会資料,事務連絡
コロンピア アルマゲール資源開発 協力基礎調査		
パラグアイ アスソシオン首都関都 市交通整備計画調査		(3) 電話, TLX, 郵便, DHL 現地報告, 事務連絡, 日本側アドバイザリーコミッティーの報告 等
バラグアイ カビバリ地区森林造成 計画調査		(3) 電話, TLX 作業状況, 相手側対応状況, 団員の健康状態等
ポリウィア サンタクル-ス総合病 院建設		
ベル〜 チョシーカ市上下水道 整備計画 基本設計 調査		(3) TLX 調査日程の連絡等
フィリピン アスエ農業総合開発計 画調査		(1) 業務調整・会計処理補助 延4名を自社経費で派遣 (2) 本社との連絡, 追加資料の入手, 機材の保管 (3) 電話, TLX, DHL 月2万円程度 工程, 旅程, 作業進捗 況等の連絡
フィリピン バナイ河流域洪水防御 基本計画調査		<ul><li>(1) 設計積算1名を自社経費で派遣</li><li>(2) 本社,比側官庁、JICA事務所との連絡</li><li>(3) 電話、TLX、DHL 月7千円程度 国内作業団員との打合も技術情報入手</li></ul>
フィリピン マニラ首都関都市交通 計画調査		<ul><li>(1) 研修を目的に自社経費で3名派遣</li><li>(2) 現地調査員の採用・管理, 現地調査費の会計処理, 物品調達管3本社との連絡</li><li>(3) 電話, 下しX、OCS, 託送 月10万円程度 作業監理委員会資料、業務連絡、国内サポート要員との情報交換</li></ul>
タ イ サンカンペン地熱開発 計画調査		(3) 電話, T L X, 郵便 月 2.5 万円程度 作業状況報告, 事務連絡
タ イ 東北部道路網整備計画 調査		(1) 道路計画1名を自社経費で派遣 (2) 事務所・宿舎の手配, 傭人の雇用, 車輌の手配 (3) 電話, TLX, DHL 月10万円程度 作業監理委員会用資料, 事務連絡
インドネシア ジ+カルタ首都圏幹線 道路網整備計画調査	提供された事務所に問題多 り	(1) 研修を目的に自社経費で1名派遣 (2) 本社との連絡, ピザ等の手続, 事務補助者の提供 (3) 電話, TLX, DHL 進捗状況, 団員の健康, 業務連絡
インドネシア ウィグス川流 坂開発計 画調査	就業規則により、調査スケ ジュールに合致しないこと がある。	(1) 2名を自社経費で派遣 (2) ローカルスタッフの手配, 団の受入準備, 車輌の手配, 資金送金の手配 の手配 (3) TLX, DHL 月10万円程度 作業報告, 資金出納報告, 資料, 事務連絡
インドネシア ウジュンパンダン上水 道整備計画調査		(1) レポート作成に1名自社経費で派遣予定 (2) 本社との連絡 (3) 電話, TLX, 手紙 月3万円程度 資料要求, 会計報告
マレイシア クランパレー交通計画 調査	整備の良い車が提供される まで借上を継続せざるを得 ない。	(2) コスト調査等 (3) 電話, TLX, DHL, 手紙 月3万円程度 業務報告

10. 現地調査費の経理処理	
<ul><li>(1) 現地通貨への交換</li><li>(2) 出納簿の記入</li><li>(3) 証憑報類等の整理</li><li>(4) 現地調査費の整理</li></ul>	(5) JICA様式の使用状況 (6) JICA様式の改善の必要の有無
<ul><li>(1) 銀行振込により現地通貨へ自動的に交換 (4) 担当者が業務後义</li><li>(2) 担当者が毎日領収書をチェックし配帳する。 は休日に整理してい</li><li>(3) 担当者が毎月領収書を費目別に出納帳に記帳する。</li></ul>	(5) 使用していない(市販の出納帳を使用)
(1) 担当者が現地銀行で実施 (4) 担当者がその都度整理 (2) 担当者が収入・支出の都度記帳する。 (8) 担当者が領収書類を整理・ファイル	(5) 使用している(6) 必要無し
(1) 担当者が両替商で交換 (4) 担当者が毎日記帳整理 (2) 担当者が出納簿に整理 している。 (3) 担当者が日付ことにファイル整理	(5) 使用している (6) 有(燃料使用表の車種別をやめる。ガソリン購入 表を領収証整理方式にかえる。文盲がいるので、現 地雇人の就労表をやめる)
(2) 担当者が記入 (4) 団長が全体管理を行ない、担当者が日常の会計処理を行う。	(5) 使用している (6) 必要無し
(1) 担当者が銀行で交換 (4) 本社でチェック・整理後JICAに (2) 担当者が週1回出納簿に整理し、団長に報告 (3) 担当者が費目毎、支払発生順に整理保管	(5) 使用している (6) 必要無し
(1) 担当者が銀行で換金 (4) 本社の担当者が整理している。 (2) 担当者が3カ月に1回程度整理,費目毎の整理は本社でおこなり。 (3) 担当者がまとめて団長の承認を受ける。	(5) 一部を使用している (6) 有(専門の会計担当がいないのだから、簡便方式 に切り変える)
(1) 担当者が銀行で換金 (4) 会計担当者が団長の承認をえて処理 (2) 担当者がその都度処理し、毎月末費目毎に集話、パソコンをしている。 (8) 担当者が、その都度費目別にファイルする。 利用している。	(5) 使用している (6) 有(人数の多い時の傭人費の領収証処理の簡略化 ガソリン代の処理の簡略化)
(1) 担当者が銀行又は換金所で換金 (4) 担当者が処理 (2) 随時記入し、月に1度整理確認 (3) 随時整理	(5) 一部を使用している (6) 必要無し
(1) 担当者が銀行で換金 (4) 担当者が記帳し、団長がチェック承認 (2) 担当者が入金・支出の都度出納簿に記入 (3) 担当者が1週間に1度整理	(5) 使用している (6) 必要無し
(1) 団長名で換金 (4) 担当者が毎月団長に報告後、本社に報告 (2) 担当者が出納簿を管理、日々の出納事務はローカルスタッフが処理 (3) ローカルスタッフが整理したものを担当者又は団長が選別整理する。	(5) 使用している (6) 必要無し
(1) 現地事務所が担当 (4) 毎月担当者が整理, 団長がチェック (2) 毎月1回本社に送付 承認後, 本社に送付。本社で整理後 (8) 毎月1回本社に送付 JICAに提出	(5) 使用している (6) 有(専門の会計担当がいないことを前提にした処理方式を検討。現在は団員が各自の20多程度の時間を会計処理に要している)
<ul><li>(1) 担当者が銀行で換金</li><li>(4) 毎月本社に送付し、本社で整理</li><li>(2) 担当者</li><li>(3) 担当者が本社に送付</li></ul>	(5) 使用していない(自社方式)
(1) 団長が換金 (4) 団長が業務後整理している。 (2) 団長の指示で補助者が出納簿に記帳 (3) その都度整理し、1週間に1度団長がチェックする。	(5) 使用している (6) 必要無し

	10. 現地調査費	<b>の経理処理</b>	
	(7) 内訳書の契約単 価と実績	(8) 契約方式	(9) JICAが定めた 費目間流用の取扱 いを知っているか
コロンピア パランキージャ総合都 市交通計画調査	5川 新	人: 労働法に基づく3カ月ごとの屈用契約, 被雇用者 の保険に加入, 支払いは半月単位、有給休暇なし 車,長期借上げ契約,時間単位単価, 支払いは半月ごと	知っている
コロンピア アルマゲール資源開発 協力基礎調査			
パラグアイ アスンシオン首都圏都 市交通整備計画調査		人:契約書、金額を市と協議の上決定、月給制 車、コピー、データーパンチマシン:1 カ月毎の借上 げ契約	知らない
バラグアイ カビバリ地区薬林造成 計画調査	別紙	人:口頭による雇用契約 物:借上げ契約書を作成	知っている
ポリヴィア サンタクルース総合病 院建設			
ベルー チョシーカ市上下水道 整備計画基本設計調査			知らない
フィリピン アスエ農業総合開発計 画調査	別紙	人:雇用条件、給与について雇用契約,人大等多数の 場合はカウンターバートを代表者として契約 車,へリコプター:契約書を作成	知っている
フィリピン バナイ河流域洪水防御 基本計画調査	別紙	人:比側が招介した者を書類・面接等により採用。契 約書はない,人夫等はその場で採用	知らない
フィリピン マニラ首都圏都市交通 計画調査	別紙	人:契約書 車,契約書	知らない
タ イ サンカンペン地熱開発 計画調査	別紙	人:日雇い月末払い	知っている
夕 イ 東北部道路網整備計画 調査	別紅	人:展用契約 車,事務所:借上げ契約	知っている
インドネシア ジャカルタ首都圏幹線 道路網整備計画調査		人:雇用契約 車 ,事務所:借上げ契約	知っている
インドネシア ウィダス川流 域開発計 画調査	别紅	人:月単価契約 車,日単価契約 コンピューター:月単価契約	知っている
インドネシア ウジェンパンダン上水 道整備計画調査		人:月単価契約 車,月単価契約 タイプライター,ゼロックス:月単価契約	知らない
マレイシア クランパレー交通計画 調査			知っている

		ماها الراجعة في المعادية في المعادية في المعادية المعادية في المعادية المعادية المعادية المعادية المعادية المعادية
	11. 技術移転	
(1) 現地調査費の過不足の状況及びその対応策	(1) 仕様書・S/W記載の有 無	(2) 対象者の範囲
停電のため、予定通り電算機により解析が出来ず、計算量が倍 増した。市当局と大学との間で価格につき交渉中である。不足 分は自社負担とする。	有	カウンターハート及び現地) 用のアシスタント 計6人
	無(示されていないが, 若手 技術者の実地指導の実績あり)	カウンターバート 計6人
調査途中のため不明。その恐れがある時は事前にJICAに申請するか、自社負担とするか決め必要な手続きなとる。	有	カウンターパート 計8人
為替レートの交動とインフレにより、過分になる見込。返済す る。	有	カウンターパート 計 5 人
調査項目以外(水質分析)の調査費用の支出現地業者,及び (ボーリング)の経費が予定より高かった。	無	
必要があればJICAに申請し流用する。	有	カウンターバート 9 人 他
一般的に予定したより多少単価が安く,残が生じる見込	有	カウンターパート10人及で 現地雇用者4人 計14人
インフレによる物価の高騰により、計画時とのスレが生じている。不足する場合は、調査目的を達成出来る範囲内で調査方法 の再検討。更に不足する場合はJICAと相談又は自社負担を 検討	有	カウンターバートその他関係? 計22人
8/Wと異なり、車輛及び運転手の賃金を先方が負担している ので、この分は殆んど支出のない予定。 精算報告の際に残として整理する。	無(JICAは技術移転も業 務と考えてむり、可能な限り 実施している)	カウンターバート 計28人
現地の実情が不明のため見積との間で過不足が生じている。 現地調査費の総額の中で処理したいと考えている。	有(具体的記述はない)	カウンターパート 計 5 人
不明(調査が開始されたばかりのため)	र्ग	相手国政府関係職員多数
現地の状況、相手政府からの便宜供与等により、不確定要素が 多い。本社を通じJICAに連絡し、普後策をとる。	有	原則はカウンターバートのみ 水管理システムはブランタス 事務所員を対象に誘義を実施
不足の恐れがある。東京及びジャカルタと二重の連絡のため通 信費がかかる。機材、資料等のエクセス代がかかった。 対策は本社にまかせている。	有	カウンターパート2人 市水道局験員 10人程度
超過する恐れのある時は、JICAに連絡し、指示をあかくことにしている。	有	カウンターバート

	11. 技術移転	
	(3) 技術移転の内容	(4) 技術移転の方法 (5) 相手園側の要望
コロンピア パランキージャ総合都 市交通計画調査	基礎調査の手法 データー解析手法 各分野の計画方法	(4) 各分野ごとにマンツーマン方式で業務を実施。月2回程度の 合同会議,映画, スライドを持参し講習会を実施 (5) セミナーの開催
コロンピア アルマゲール資源開発 協力基礎調査	鉱物資源の探査手法	(4) 現地調査を共に行う (5) 日本に派遣して技術を習得させる。
バラグアイ アスンシオン首都関都 市交通整備計画調査	各パートにおける仕事の進め方, 方法論、レポートの方法	(4) 仕事に参加させる。カウンターパートにレポートをまとめさせる。
バラグアイ カビバリ地区森林造成 計画調査	森林調査の技術(航空写真の利 用,立体視,測樹,測量森林土 壌の技術)	(4) 現地調査作業中,雨天で作業中止時にマンツーマンで行う。
ポリヴィア サンタクルース総合病 院建設		
ベルー チョシーカ市上下水道 整備計画基本設計調査		(4) 現地調査, 打合せ協議を通して行う。
フィリピン アスエ農業総合開発計 画調査	技術一般 弾性波テスト及び解析 光波測巨儀使用法	(4) 調査作業を通じて奨施 (5) 最終的開発計画策定作業を現地作業で実施し、カウンターバート等に技術移転が出来るより調査工程の変更を要望。若し困難であれば国内作業時に日本への研修受入れを要望
フィリピン パナイ河流域洪水防御 基本計画調査	河川流量測定,各種データの収 集、整理等,河川構造物の基本 設計	(4) 作業を通じての技術移転を主体とし、上級のカウンターバー トには報告書の内容を説明している。
フィリピン マニラ首都圏都市交通 計画調査	バソコンを使った交通データー ベースの整備,交通計画の方法 論	(4) 作業班毎の協同作業と定期的なミーティングを通じてのOJT (5) セミナーの実施,日本での研修
タ イ サンカンペン地熱開発 計画調査	<b>堰削技術</b>	(4) カウンターバートとの共同作業における体得 (5) 本調査終了後,タイ側独自で調査井の銀削計画もあり掘削技 術等について技術移転の要望がある。
タ イ 東北部道路網整備計画 調査		<ul><li>(4) 調査の重要なポイントについては、その都度カウンターパートと会議を持ち作業を進めている。</li><li>(5) 特別な項目についての要望はない。</li></ul>
インドネシア ジャカルタ首都圏幹線 道路網整備計画調査	バーソントリップ調査の方法 調査結果の解析方法	(4) ミニセミナーの開催及び technical paper の配布 (5) 作業参加形式による技術移転、日本での研修
インドネシア ウィダス川流域開発計 画調査	デザイン・クリテリアに基づく 実務	(4) 実務を通じてのマンツーマン方式(調査業務多忙のためOJTを中心としている)
インドネシア ウジュンパンダン上水 道整備計画調査	調査方法,項目,管網計算の方 法,浄水場の維持管理	<ul><li>(4) マンツーマンでやっている。月1回程度主要な事項を説明している。</li><li>(5) 主にカウンターパートを通じてやって欲しい。</li></ul>
マレイシア クランパレー交通計画 調査	交通計画調査全般(調査技法, 調査解析技法, 交通計画策定方 法等)	(4) 原則としてはOJT

٠.	技術移転担当者 技術移転計画の有無	(8) 技術移転の効果	(9) 技術移転に要する経費
(6) (7)	各分野毎の担当者 有	あがっている。 カウンターパートを中心にパランキージャ市 に計画局を新設する機迎が出ている。	映画, ビデオ, スライド等の購入・作成費, テクニカル・レポートの作成費 経費は会社負担
(7)	. ARE		
	定めている 無	あがっている。 調査団の仕事の進め方に関心を示している。	テクニカル・レポートの作成費
(6) (7)	定めていない 無	あがっている。 測量、測樹、蓄積調査等が出来るようになっ た。	作業実行と合わせて実施しているので、経費 区分は出来ない。
(6) (7)	各分野毎の担当者 有	あがっている。 新しい測量技術の習得, 爆発物に対する安全 管理意識の向上, 弾性波テストの解析が出来 るようになった。	
	定めていない 無	あがっている。 耐量水位流量観測に対する理解,構造物の基 本設計図,製図技術の向上	
	定めている 有(パソコンペース)	あがっている。 交通調査技術、パソコンの利用範囲の拡大が みられる。	セミナー実施に要する各種の経費(報告者に 対する謝礼,テキスト代,会議費,コンサル タントの計画,準備・実施等の経費)
(6) (7)	団員全員 無	あがっている。 深部地熱掘削を初めて体験した。	
(6) (7)	定めていない 無	あがっている。 北部地方道路網調査でド/Sのマニュアルを 作成したので技術水準があがっている。	
	団員全員 有	今後の問題だが、本調査で調査技法を移転す れば、他都市の調査は自分達で出来る。	セミナーの会場費,資料作成費
-	定めていない 無	あがっている。 個々人が自分で仕事が出来るようになってき ている。	特になし
• • • •	各分野毎の担当者 有	あがっている。 M/P作成手順と内容,データー処理,水理 計算方法	30人/日の人件費, コピー代
	各分野毎の担当者 有	調査を開始したばかりである。	未実施

	11. 技 街 移 転
	(0) 技術移転実施上の問題点と対応策
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
コロンピア	意志疎通が良くなり、カウンターパートと一体化して計画が進められるようになった反面、理解を得
パランキージャ総合都	るため、作業に時間を要するととが多い。
市交通計画調査	
コロンピア	
アルマケール資源開発	
協力基礎調査	
パラグアイ	
アスンシオン首都圏都	影響なし
市交通整備計画調査	
パラグアイ	
カビバリ地区森林造成	影響をし
計画調査	
ポリヴィア	
サンタクルース総合病	
   院建設	
ベルー	
チョシーカ市上下水道	
整備計画 基本設計調查	
フィリピン	JICAチームによるF/S未経験者の場合、技術移転の効果は期待出来るが、調査業務実施の効率
   アスエ農業総合開発計	は低下する恐れがある。
画調査	
フィリヒン	一時,技術習得に対し、熱意を持っているよりな者でも長期間にわたって観察しないと一時期だけと
パナイ河流域洪水防御	いうことにもなりうる。レクチャー等による移転はかなり技術レベルが高く、意欲も大きい技術者に
基本計画調査	は有効だが、一般の途上国では直接の仕事から休験により移転する方が効果は大きいと考える。
フィリピン	技術移転はS/Wに記されているが、その具体的内容・目標・方法はあいまいで、これに要する人/
マニラ首都園都市交通	月の手等は十分行れていない。調査成果を相手国が十分フォローアップ出来るためにも、技術移転を
計画調査	業務全体の中で明確に定義し、実態的に位置付ることか今後非常に重要である。
9 1	カウンターパートのレベルと現作業に要求される技術レベルに大きな差があり、調査期間内に成果を
サンカンペン地熱開発	上げるのは困難。限られた機材と期間内に調査を完了し、かつ安全に技術移転を行うことは不可能で
計画調査	ある。
8 1	
東北部道路網整備計画	日常の調査項目に関する協議が技術移転につながるが、特別に実施しようとすれば、調査の片手間に 実施することは困難と思われる。専門にそれに従事する者をおくか、調査団にDOHの者を配置する
調査	か、そうした方法をとるべきだと思う。
インドネシア	
ジャカルタ首都圏幹線	セミナーの準備に時間を要する。
道路網整備計画調査	C() OTHORNIBLEX) WO
インドネシア	
ウィタス川流域開発計	本格的にやれば相当の人/月が必要。  具体的な仕様を決め、それに相当する人/月の計上が必要。
画調査	S/Wをとり決め時に、具体的内容を決め、契約に含めて欲しい。
インドネシア	
ウジュンパンダン上水	影響なし。但しカウンターパートは興味ある作業(水質検査等)に熱中し、他の業務を省みない者が
道整備計画調査	いる。又、カウンターパートを指導しても、下の者に教えず下の者が、直接専門家に聞きにくる。
<b>担金両計画の乱</b> マレイシア	
クランパレー <b>交通計</b> 画	相手国は相当の技術移転を望んでおり、相当の時間を要するものと思われる。調査技法の習得度を総理的なながある。
	理府に報告することになっている。今後,短期専門家によるセミナーも必要となろう。
調査	

(1) to W. A. M. W. O. L. T. O. III. CO A. F. L.	(2) 仕様書の内容・契約金額内訳書	(8) 調査業務実施の全般についての要望
(1) 契約金般についての要望・意見	(2) は球骨の内谷・矢利並属内が名の様式等についての要望・意見	意見
		WASTER T. F.
様式以外の提出事類の様式が担当者に より、異なるので統一して欲しい。	<del>(M.</del>	意志の録通をはかるために作業管理委員 会の現地調査を多くする。国内作業分の 増加を認めて欲しい。
		福州を除るてはない。
国内バックアップスタッフ(作業監理 委員会に対する資料作り等)の作業経 費の計上	無	無
<b>#</b>	無	無
契約決定から現地調査実施まで世銀, ADB等に比較し,非常に短い。社内・ 外の業務引き継ぎが十分出来ない。報 告書作成費の単価が低い。	説明会で説明されるが,業務指示書が 非常に簡単で,業務内容・範囲が明確 に指示されていない。	無
無	無	無
無	無	弾力性を認めて欲しい。
調査が年度をまたがった時,空白期間 を生じ調査業務の一貫性・効率性から 問題がある。	無	団員の尿遺時期・期間が契約金額の範囲 内で柔軟に変更出来ると状況の変化に文 応しやすい。
無	無 無	無
精算方式でなく総価契約を要望。団員 の日程を総日数にあわせて自由に変え られる様要望	現地コンサルタントとの契約内訳を事 前に把握することは困難であるので, 総額だけの処理に出来ないか。	<del>/H</del>
現地調査費の総括的精算の導入	無	年度始めの契約更新時に国内待機とな 業務実施面から、多大な損失(事務所終 続借上げ,現地雇人の解雇を含む)とす る。
ランプサム方式とすること。 派遣計画を作業の進行に合せ一定の範 団内でコンサルの判断で出来るようにする。	無	相手政府の便宜供与の責任を明確にす。 作業監理委員会の責任の範囲、先方に対 する発言権の明確化
無	無	ビザの許可日数が、契約上の現地滞在! 数に比し、ギリギリであるので余裕がる しい。
ランプサム方式は必ずしも良くない。 ADBでは現地調査費を毎月報告させ ているし、精算は必要と思う。	無	

	12. 調査例からの要象・意見		
	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		
	(4) 現地業者の活用についての要望・意見	(6) 経理処理上の要望・意見	
コロンピア		Historia de la constanta de la	
パランキージャ総合都	ta ta	出来高払いでなく、契約金額による請負力式に	
市交通制画調査	, FER	ナベきである。精算方式なら会計担当者の派遣 を契約上認めるべきである。	
		4 3540 E1860 \$ 18 C \$ 20	
コロンピア			
アルマゲール資源開発			
<b>助力基礎調查</b>			
パラグアイ		事務所の開設等調査の立ちあかり時の人員の派	
アスンシオン首都関都	無	遺を認めて欲しい。	
市交通整備計画調查			
パラグアイ	:		
カビバリ地区森林造成	無	会計・庶務担当者を認めて欲しい。	
查跳画情	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	Zen manual and and Charles	
ポリヴィア			
サンタクルース総合病			
院建設			
ベルー	業者の実績、能力等を評価しつつ複数の競争によ	現地調査が長期となる場合、会計庶務担当者の	
チョシーカ市上下水道	る選定が必要。予想以上の見積の場合はS/Wに	参加を認めて欲しい。	
整備計画基本設計調查	ついての協議・調整が必要		
フィリピン			
アスエ農業総合開発計	無	会計・庶務担当者の派遣を認めて欲しい。	
画調査		WWW THE COST CW CAS	
フィリピン			
パナイ河流域洪水防御	Æ		
基本計画調査	ANC.	無	
フィリヒン			
マニラ首都圏都市交通	フィリピンでは各分野で担当優秀なコンサルタン	現地調査費の渡し切り化义は完全な請負いとす	
	トが育っており、作業の質の向上、技術移転・経	る。	
計画調査	費の節約のためにも活用すべきである。		
91			
サンカンペン地熱開発	無	無	
計画調査		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
9 1		会計・庶務担当者を認めて欲しい。	
東北部道路網整備計画	<b>#</b>	彼し切り化れして欲しい。	
調査		W C ST S ILLIC C TAX C V I o	
インドネシア	出来るだけ活用したい。ただオーバーヘッドがか		
ジャカルタ首都簡幹線	かるのでコストアップになる。	会計・庶務担当者の派遣又は渡し切り化を実現	
道路網整備計画調查	~ ~ ~ ~ ハーノッノ IC は わっ	して欲しい。	
インドネシア	7 Hillson & Wat Add		
ウィダス川流域開発計	入札によらず例え契約金額が高くても技術的に信	会計・庶務担当者の派遣又は会計・庶務業務の	
	頼の出来る業者を使いたい。	簡素化の実現	
画調査			
インドネシア			
ウジュンバンダン上水	無	会計・庶務担当者の派遣を希望	
道整備計画調查		ののシーマンの人はで作金	
マレイシア		ASL WALLEY	
クランパレー交通計画		会計・庶務担当者の派遣を希望、認められなけ	
調査		れば担当者の人/月を増して欲しい。	
	4000		

(6) その他の要望・意見	
近隣諸国の訪問を認めて欲しい。(旅券の種類の検討) JICA事務所の能力アップ	
団の構成(官・コンサル)を考える必要がある。	
総括の帰国打合せは、実質3日間だが、公用旅券収得のため9日間 を要するので改善を要する。	
水道背及率は、経済・技術的には65%が妥当だが作業監理委員会より相手国の要望通り75%の計画を要求され、案を2つ作ることになり作業量が増えた。結論はコンサルタントにまかせられないか。	

	セクレタリー		タイピスト		通 款(英↔西)	
	契約単価	実 績	契約単価	実 績	契約単価	実 績
コロンピア バランキージャ 総合 都市交通計画調査	·	P. 35,000/月	70,000 <sup>H</sup> / <sub>月</sub>	P. 32000/月	16,800 <sup>[H]</sup> / <sub>El</sub>	P. 45,000/月
バラグァイ カピバリ地区森林 造成計画調査					20,000円	G.S 12,000~18,000/1 7,200~10,000/ <sub>E</sub>
フィリピン アスエ農業総合開発計画調査			2,000円	(2,000円 <sub>月</sub> )		
フィリピン パナイ河流域洪水 防御基本計画調査			900 <sup>円</sup> / <sub>日</sub>	(700 <sup>円</sup> <sub>日</sub> )		
フィリピン マニラ首都圏都市 交通計画調査			45,000円月	P 2,000~2,300/月 (28,000~32,200 円 <sub>月</sub> )		
タイ サンカンペン地熱 開発計画調査						
タイ 東北部道路網整備 計画調査						
インドネシア ウィダス川流域開 発計画調査			50,000 <sup>17</sup> / <sub>H</sub>	R . P 150,000/月 (37,500 <sup>円</sup> 月)		

通訳	(日↔班)	アシス	(タント	運	恢 手	調	査 負
契約単価	実 績	契約単価	実 績	契約単価	実 績	契約単価	実 績
16.800 <sup>[1]</sup> /H	US\$ 50/[]	70,000円月	P. 28,000/月		P. 32,000/月		
							-
						2,000円	P. 60~85/日 (840~1,190円)
		4,000 H	B 7,000/月 (70,000円/ <sub>月</sub> )	3,000 <sup>FI</sup> / <sub>EI</sub>	B 3,500/月 (35,000 <sup>円</sup> / <sub>月</sub> )		

	The state of the s		B. Mr. Observed and a middle of the second section of the section of		車 輌(ジープ)	
	人		車 輌(乗用車)		中 柳	( シーフ )
	契約単価	実 績	契約単価	実 績	契約単価	夹 績
コロンビア バランキージャ総合 都市交通計画調査						
パラグァイ カピバリ地区森林 造成計画調査	1,600円白	GS 2,000/H (1,200 <sup>H</sup> /H)	20,000 11	GS 18,000~20,000/H (10,800~12,000 [H/H])		
フィリピン アスエ農業総合開 発計画調査	1,200円行	(960~1,100 <sup>11</sup> 省)	12,000円台	P 900/日 (11,300円)	16,000円台	P 11,000/日 (13,860円)
フィリピン パナイ河流域洪水 防御基本計画調査	900円台	(400円)	16,500 円	(10,500円 <sub>月</sub> )		
フィリピン マニラ首都圏都市 交通計画調査			350,000 <sup>[1]</sup> / <sub>J</sub>	P 18,000/月 (252,000円 <sub>月</sub> ) 燃料含まず		
タイ サンカンペン地熱 開発計画調査	1,200円	B <sub>85/日</sub> (850 <sup>円</sup> <sub>日</sub> )				
タイ 東北部道路網整備 計画調査			20,000 <sup>FT</sup> /E	B <sub>20,000</sub> /月 (200,000円/ <sub>月</sub> )		
インドネシア ウィダス川流域開 発計両調査	50,000 <sup>11</sup> / <sub>A</sub>	RP 150,000/月 (37,500 <sup>円</sup> 月)	12,000円白	RP 5 0.0 0 0 / E (12,5 0 0   H)		

車 輌(	マイクロバス)	ポ ト			
契約単価	実 績	契約革価	実 績		
-					
-					
		·			
		:			
	·				
		10,000 円白	(10,000円)		
H3 .	P 30,000/月				
450,000円月	(420,000円角) 燃料含まず				
·					

